

問1 鎌倉時代中期以降に見られた、地頭と領家の争いを解決するための制度である「下地中分」の内容について、最も適切な説明はどれですか。

(2024年 埼玉県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 地頭が領家に対し、毎年決まった額の年貢を必ず納めることを条件に、土地の管理をすべて請け負った。 | 2. 幕府が土地の所有権をすべて回収し、地頭と領家の双方に、幕府への忠誠心に応じた給与を支給した。 | 3. 地頭による不法行為を重く見た幕府が、地頭を罷免して土地の支配権をすべて領家に戻した。 | 4. 土地を物理的に二分割し、地頭と領家がそれぞれ決められた区域の支配権を完全に分かち合った。 |
|--|---|---|---|

問2 13世紀、チンギス・ハンの孫であるフビライ・ハンが、モンゴル帝国の本拠地を中国に移して定めた国号を選びなさい。

(2017年 静岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|------|------|------|------|
| 1. 唐 | 2. 清 | 3. 元 | 4. 明 |
|------|------|------|------|

問3 鎌倉幕府が、1221年の出来事の直後に朝廷の監視や西国の御家人の統轄を行うために取った対応として正しいものはどれか。

(2023年 宮崎県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------------------------------|------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 京都に六波羅探題を置き、朝廷の監視や西国の統轄を行わせた。 | 2. 室町に室町幕府を開き、朝廷の御所を監視下に置いた。 | 3. 大宰府に鎮西探題を置き、元（モンゴル帝国）の侵略に備えさせた。 | 4. 平京城に守護と地頭を配置し、全国の荘園からの年貢徴収を命じた。 |
|----------------------------------|------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|

問4 鎌倉幕府が成立した後の1221年、朝廷の勢力を回復させるために後鳥羽上皇が挙兵し、結果として幕府の支配力が全国に及ぶきっかけとなった戦乱はどれですか。

(2017年 大分県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|---------|-------------|---------|
| 1. 壇ノ浦の戦い | 2. 承久の乱 | 3. 奥州藤原氏の滅亡 | 4. 平治の乱 |
|-----------|---------|-------------|---------|

問5 当時の寺院建築について、豪華な装飾を排した質実剛健な造りであると説明されている資料があります。このような文化背景を持ち、鎌倉幕府や武士の層から厚い支持を受けた禅宗の背景として、最も適切な説明はどれですか。

(2026年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 座禅によって精神を鍛える厳しい修行が、命を懸けて戦う武士の理想や価値観に適合したため。 | 2. 貴族文化の流れを汲む華やかな儀式を導入することで、武士の地位を朝廷と同等に高めようとしたため。 | 3. 加持祈祷によって現世の利益や戦いでの勝利を約束する教えが、幕府の政治的安定に寄与したため。 | 4. 「南無阿弥陀仏」と唱えるだけで誰でも救われるという簡潔な教えが、多忙な武士の生活に合っていたため。 |
|--|--|--|--|

問6 現在の福岡県にある博多湾沿岸の地形図において、海岸線に沿って「史跡」として記されている、鎌倉時代に石を積み上げて作られた構造物の名称を選びなさい。

(2017年 鹿児島県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|-------|--------|---------|
| 1. 元寇防塁 | 2. 水城 | 3. 金田城 | 4. 環濠集落 |
|---------|-------|--------|---------|

問7 源頼朝が幕府の拠点として鎌倉を選んだ理由には、その独特な地形が関係しています。当時の鎌倉の地形的な特徴と利点について説明した文として、最も適切なものはどれですか。

(2015年 岐阜県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 広大な平野が広がっており、大規模な騎馬軍団を訓練したり、農地を拡大したりするのに適していた。 | 2. 三方を山に囲まれ、南側に海に面しているため、敵からの攻撃を防ぎやすい要害の地であった。 | 3. 巨大な川の河口に位置しており、内陸部への水運を利用して大量の年貢米を集めるのに適していた。 | 4. 京都から続く平坦な道が整備されており、朝廷との連絡を迅速に行うことができる交通の要所であった。 |
|---|--|--|--|

問8 源頼朝が征夷大将軍に任じられ、武士による政治が確立された鎌倉時代において、禅宗が武士の精神的支えとして広く受け入れられた理由として、最も適切な説明はどれかを選びなさい。

(2017年 沖縄県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 法華経こそが正しい教えであると説き、幕府に対して強い忠誠心を持つよう指導したことが、支配体制の安定に寄与したから。 | 2. 加持祈祷によって現世での利益や国家の安泰を願う儀式が、武家政権の権威を象徴するものとして利用されたから。 | 3. 「南無阿弥陀仏」と唱えるだけで誰でも極楽浄土へ行けるという平易な教えが、学問の機会が少なかった地方武士に歓迎されたから。 | 4. 厳しい修行を通じて自己の精神を鍛え、迷いを断ち切ろうとする実践的な姿勢が、命を懸けて戦う武士の気風に合致したから。 |
|--|---|---|--|

問9 フビライ・ハン率いる元軍が2度にわたって日本へ侵攻した「元寇」の後、鎌倉幕府の支配力が急速に弱まり、衰退に向かった主な要因は何か。

(2023年 和歌山県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------------------------------|--|----------------------------------|----------------------------------|
| 1. 鉄砲を用いた元軍の戦術を取り入れたことで、武士の伝統が失われたから | 2. 防衛戦であったため恩賞として与える土地が不足し、御家人の不満が高まったから | 3. 元軍との戦いで鎌倉が直接攻撃を受け、都市機能が麻痺したから | 4. 元の支配を受け入れたことで、朝廷と幕府の対立が激化したから |
|--------------------------------------|--|----------------------------------|----------------------------------|

問10 1232年に制定された「御成敗式目」について、この法典が制定された目的や背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。

(2020年 大阪府公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 朝廷が持っていた裁判権をすべて奪い、武士が貴族を支配するための法的な根拠とするため。 | 2. 承久の乱のあと、地頭と荘園領主の間で増えていた所領争いを、公平に裁くための基準を作るため。 | 3. 元の襲来に備えて、全国の御家人に幕府への忠誠を誓わせ、軍役の義務を強化するため。 | 4. 仏教の教えを広めることで、戦いに明け暮れる武士の道德心を高め、治安を維持するため |
|---|--|---|---|

問11 鎌倉時代に興った新しい仏教の一つで、日蓮が説いた教えについて述べたものとして正しいものはどれですか。

(2014年 和歌山県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|---------------------------|
| 1. 全国に国分寺を建て、国家の平和を祈ることを説いた。 | 2. 法華経こそが最高の教えであると、題目を唱えることを説いた。 | 3. 阿弥陀如来の救いを信じ、念仏を唱えることが最も大切だと説いた。 | 4. 座禅を組むことで自ら悟りを開くことを説いた。 |
|------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|---------------------------|

問12 奈良時代、唐から5度の渡航失敗や失明という困難を乗り越えて来日した僧がいます。彼が当時の日本において、僧侶が守るべき規律として確立し、授けたものを何といいますか。

(2022年 栃木県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|-------|-------|------|
| 1. 加持祈祷 | 2. 戒律 | 3. 念仏 | 4. 禅 |
|---------|-------|-------|------|

問13 13世紀の歴史的な出来事を整理した年表において、鎌倉幕府の成立から承久の乱を経て、武士による政治（武家政治）が確立されていく過程を示す具体的な出来事として最も適切なものはどれか。

(2017年 秋田県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------------------------------|--|------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 足利義満が明との間で勘合貿易を始め、経済的な基盤を固めた。 | 2. 北条泰時が武士の慣習をまとめた御成敗式目を制定し、裁判の基準を明確にした。 | 3. 徳川家康が江戸幕府を開き、武家諸法度を制定して大名を統制した。 | 4. 聖徳太子が冠位十二階を定め、才能ある人材を役人に登用した。 |
|----------------------------------|--|------------------------------------|----------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 土地を物理的に二分割し、地頭と領家がそれぞれ決められた区域の支配権を完全に分かち合った。	武士が地頭として土地に深く根を下ろすと、もともとの領主である貴族や寺社（領家）の支配力は弱まり、年貢の未納などの紛争が多発しました。幕府の仲裁や当事者間の和解によって行われた下地中分は、土地を「下地（土地そのもの）」と「中分（半分に分ける）」という言葉通りに分割し、地頭にその一部の完全な支配権を認めるものでした。これにより、地頭の土地支配（武士の土地所有）が実質的に強化される結果となりました。
問2	答え 3 元	モンゴル帝国は13世紀にユーラシア大陸の広大な範囲を支配しました。第5代皇帝のフビライ・ハンは、都を現在の大都（北京）に移し、中国式の国号である「元」を採用しました。この時期の日本では鎌倉幕府が続いており、北条時宗が執権として政治を行っていました。
問3	答え 1 京都に六波羅探題を置き、朝廷の監視や西国の統轄を行わせた。	承久の乱で朝廷側に勝利した鎌倉幕府は、再発を防ぐために京都に六波羅探題を設置し、朝廷の監視や西国の御家人を統轄させました。
問4	答え 2 承久の乱	鎌倉幕府の創設者である源頼朝が亡くなった後、政治の実権が北条氏に移る中で、後鳥羽上皇は朝廷の権威を取り戻そうとして兵を挙げました。これが承久の乱です。幕府側は北条政子の呼びかけにより御家人が団結して勝利を収めました。この乱の後、幕府は京都に六波羅探題を設置して朝廷を監視し、西日本の支配を強めることになりました。
問5	答え 1 座禅によって精神を鍛える厳しい修行が、命を懸けて戦う武士の理想や価値観に適合したため。	禅宗の「自ら厳しく律して悟りを目指す」という精神性は、質実剛健を尊ぶ武士の道徳観と深く結びつきました。幕府の拠点である鎌倉には建長寺や円覚寺といった大規模な禅寺が建立され、幕府の政治や文化に大きな影響を与えました。選択肢にある「念仏」は浄土系の宗派、「祈祷」は密教などの特徴です。
問6	答え 1 元寇防塁	九州北部の海岸沿いに復元された石垣や、地図上で史跡として示されているこの構造物は、元の攻撃を防ぐために築かれた元寇防塁です。同じ九州北部には、古代に唐や新羅の侵攻に備えて築かれた「水城」などの防衛施設もありますが、13世紀のモンゴル襲来に関連するものは元寇防塁と呼ばれます。
問7	答え 2 三方を山に囲まれ、南側が海に面しているため、敵からの攻撃を防ぎやすい要害の地であった。	鎌倉は、背後に山を背負い、前方に海が広がる「守りやすく攻めにくい」地形をしていました。源頼朝はこの地理的優位性に注目し、武家政権の本拠地を築きました。山を切り開いて作られた「切通（きりどおし）」という道以外からは侵入が難しい構造になっていました。
問8	答え 4 厳しい修行を通じて自己の精神を鍛え、迷いを断ち切ろうとする実践的な姿勢が、命を懸けて戦う武士の気風に合致したから。	禅宗は、他者の力に頼るのではなく、座禅という厳しい修行を通じて自らの内面を見つめ、悟りを開く「自力」の教えです。常に戦場での決断を迫られる武士にとって、恐怖や雑念を捨て去り、精神を集中させる禅の技法は、単なる宗教以上の実践的な心の規範となりました。このため、幕府の要職にある武士たちの間で特に重んじられました。
問9	答え 2 防衛戦であったため恩賞として与える土地が不足し、御家人の不満が高まったから	鎌倉幕府は「御恩と奉公」という主従関係で成り立っていましたが、元寇は外国の侵略を防ぐ防衛戦であったため、新たに獲得した土地がありませんでした。命がけで戦い、多額の軍費を負担した御家人に対し、幕府が十分な恩賞（土地）を与えられなかったことで、御家人の生活は困窮し、幕府への不信任感が強まりました。
問10	答え 2 承久の乱のあと、地頭と荘園領主の間で増えていた所領争いを、公平に裁くための基準を作るため。	承久の乱の結果、幕府の支配力が西日本にも拡大し、地頭として派遣された武士と従来の荘園領主との間で土地をめぐる紛争が多発しました。第3代執権の北条泰時は、これらの争いを公平に解決し、武士が納得できる裁判を行うために、武士社会の慣習を反映した基準を明文化しました。
問11	答え 2 法華経こそが最高の教えであるとし、題目を唱えることを説いた。	鎌倉新仏教の一つである日蓮宗（法華宗）は、日蓮によって開かれました。彼は他の宗派を厳しく批判し、釈迦の説いた「法華経（ほけきょう）」こそが真実の教えであると主張しました。修行として「南無妙法蓮華経」という題目（だいもく）を唱えることで、苦難の多い社会においても人々が救われると説いたのが大きな特徴です。
問12	答え 2 戒律	鑑真は、日本の聖武天皇の招きに応じ、僧侶としての資格を認めるための正式なルールである「戒律」を伝えるために来日しました。これにより、それまで自分勝手に僧侶を名乗る者が多かった日本の仏教界において、国家公認の僧侶を育成する仕組みが整えられました。鑑真は唐招提寺を建立し、多くの僧侶に戒律を授けました。
問13	答え 2 北条泰時が武士の慣習をまとめた御成敗式目を制定し、裁判の基準を明確にした。	承久の乱を経て幕府の権力が全国へ広がる中、武士同士の領地争いを公平に裁く必要性が高まりました。北条泰時が制定した御成敗式目は、武家社会の慣習を成文化した初めての法律であり、武家政治を法的な側面から支える重要な役割を果たしました。